

広国市民大学 “いのち”を紡ぐコース

## 第2回

**認知症を理解し、  
関係を“紡ぐ”対応が出来るように  
なるためのポイント**

\* 認知症という“病気”は、体験を丸ごと忘れてしまう

歳をとると誰もが物忘れをするようになりますが、体験の一部を忘れたとしても全てを忘れることはありません。

しかし、認知症が進んでいくと、体験を丸ごと忘れてしまいます。また、古いことは覚えていても、新しいことを忘れるという傾向があるようです。

\* 「物忘れ」を例にして、老化と認知症の違いをみてみよう

	老化の場合	認知症の場合
物忘れの原因	加齢による状態。 脳の神経細胞の機能が低下することから	脳の病気による状態。 広範囲で脳の神経細胞が死滅し、脳が委縮することから
記憶力の低下	記憶力が低下する	記憶力の低下と共に、 判断力や時間の感覚も低下する

	老化の場合	認知症の場合
自覚している？	物忘れをしているという自覚がある	物忘れをしているという自覚がない
体験を忘れる？	体験したことの一部を忘れる	体験したこと全体を忘れる
進行は？	進行しない	進行する
日常生活への影響は？	環境変化がなければ特に支障はない	日常生活に支障がある

## < 認知症本人の苦しみ >

### 1. 日常で、何かが変だと思い始めます

もの忘れ(記憶障害)は、認知症の代表的な症状です。

- ・ しまっておいたはずの物が見つからない
- ・ 物を失くす
- ・ 今何をしていたかを忘れる
- ・ 同じことを何度も繰り返す

2. 自分ではどうにもならない能力の低下  
記憶、認識、判断、学習、推理といった  
能力の低下によって、
- ・ 字が書けなくなる
  - ・ 計算ができなくなる
- などが生じます。

### 3. 答えようとしても言葉が出てこない (失語の状態)

- ・ 人や物の名前が出てこない
- ・ 相手の言っていることが  
よく理解できない

4. 自分の知らないことでトラブルが増える  
例えば、火の不始末を責められても、  
火を使っていたこと自体を忘れている  
ので、何を責められているのかわから  
ない。



## 5. 自分が失われる恐怖

- ・ 自分はこれからどうなってしまおうのか
- ・ 何もわからなくなるのか
- ・ 別な人間になってしまおうのか
- ・ みんなに忘れられてしまおうのか
- ・ このままで生きていけるのか

認知症の方にもプライドがあります。  
にも関わらず、自分ですることができません。



耐え難い苦痛の中で介護を受けるしかありません。  
自分のせいで家族に迷惑をかけている、嫌われる  
かもしれないと思ってしまい…



存在価値の喪失感を抱えます

## < 認知症本人の世界 -1 >

- 忘れたことに気づいていない
    - ひどいもの忘れによって、
    - 同じことを何度も話す
    - 今聞いたばかりの事を繰り返し聞く
- という症状は認知症の代表的な症状です。

今経験したばかりのことを忘れてしまうのは記憶障害からきているものなので、何度説明されても記憶することができません。

認知症では、忘れる範囲も行為の一部ではなく、全部を忘れるという特徴があります。

しかも、忘れたこと自体に気づいていないため、何度説明されても本人にとっては初めて聞くことばかりなのです。

認知症では、新しいことは忘れ、昔のことほどよく覚えているという特徴があります。(逆行性喪失)  
つまり、本人が話している内容を通して、目の前にいる本人が、今、人生のいつの時代を生活しているかを知ることが可能です。

周りから見ると本人の思い込み、過去の記憶ですが、本人にとっては“現実”であり、“今”なのです。